

平成 32 年度

事業者番号	0267	事業所番号	026702
-------	------	-------	--------

事業所の地球温暖化対策計画・実施状況報告

1 事業所の概要

(1) 事業所種別

事業所種別	C 平成20年度以降の3か年度(年度の途中から当該事業所の使用が開始された場合にあつては、当該年度を除く3か年度)連続して、年間原油換算エネルギー使用量が1,500kL以上の事業所(他の事業所の一部(区分所有部分、テナント部分等)である事業所は除く)
C	

(2) 事業所及び事業内容

事業所名	東京都水道局三郷浄水場		
事業所所在地	市区町村	三郷市	
	字・地番	彦江三丁目12番2号	
産業分類名(中分類)	水道業		
分類番号(中分類)	36		
事業活動の概要	事業内容 従業員数等	主な製品 浄水 従業員 91人	

2 事業所の温室効果ガス排出量の削減目標

(1) 第2計画期間の削減目標

計画期間	27	年度	~	31	年度
削減目標	エネルギー起源CO <sub>2</sub> (必須)	基準排出量に対し、削減計画期間の平均削減率を13%以上とする。 (必要に応じて排出量取引を活用する)			
	その他ガス				
エネルギー起源CO <sub>2</sub> の削減目標の概要	排出可能上限量 (計画期間合計)	298,805	t-CO <sub>2</sub>		
	削減目標量 (計画期間合計)	44,650	t-CO <sub>2</sub>	事業所区分	第2区分

(2) 第3計画期間の削減目標

計画期間	32	年度	~	36	年度
削減目標	エネルギー起源CO <sub>2</sub> (必須)	基準排出量に対し、削減計画期間の平均削減率を20%以上とする。 (必要に応じて排出量取引を活用する)			
	その他ガス				

### 3-1 事業所の温室効果ガス排出量

#### (1)原油換算エネルギー使用量の推移

原油換算エネルギー 使用量(kL)	計画期間				
	27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	31年度 (2019)
	26,347	26,813	30,069	30,436	30,535

#### (2)計画期間の温室効果ガス排出量の推移

CO<sub>2</sub>換算(t-CO<sub>2</sub>)

		計画期間				
		27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	31年度 (2019)
エネルギー起源CO <sub>2</sub>		51,933	52,815	59,245	59,661	60,188
その他 ガス	非エネルギー起源CO <sub>2</sub>					
	メタン					
	一酸化二窒素					
	ハイドロフルオロカーボン					
	パーフルオロカーボン					
	六ふっ化いおう					
	三ふっ化窒素					
温室効果ガスの合計		51,933	52,815	59,245	59,661	60,188

#### (3)計画期間の温室効果ガス排出量原単位の状況(エネルギー起源CO<sub>2</sub>)

CO<sub>2</sub>換算(t-CO<sub>2</sub>/指標)

			計画期間				
			27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	31年度 (2019)
エネルギー起源CO <sub>2</sub> 排出量原単位			0.1441	0.1394	0.1448	0.1443	0.1493
活動規模の指標	○	生産量					
		東京送水量+埼玉 取水量	千m <sup>3</sup>	360,509	378,868	409,104	413,471

日本工業規格A列4番

3-2 温室効果ガス削減目標に係る状況

(1) 基準排出量

基準排出量	68,691	t-CO <sub>2</sub> /年
基準排出量検証	基準年度検証実施済	

(2) 基準排出量の変更

変更年度		変更量	
変更年度		変更量	
変更年度		変更量	

(3) 目標削減率

目標削減率の区分	第2区分
----------	------

(4) 削減計画期間

27	年度から	31	年度まで
----	------	----	------

(5) 年度ごとの状況

		27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	31年度 (2019)	削減期間 合計	
基準 排出 量 等	基準排出量(A)	68,691	68,691	68,691	68,691	68,691	343,455	
	トップレベル認 定							
	目標削減率(B)	13.0%	13.0%	13.0%	13.0%	13.0%		
	排出上限量 (C = Σ(A-D))							298,805
	排出削減目標 量 (D = Σ(A × B))							44,650
実 績	エネルギー起源 CO <sub>2</sub> 排出量(E)	51,933	52,815	59,245	59,661	60,188	283,842	
	排出削減量 (F = A - E)	16,758	15,876	9,446	9,030	8,503	59,613	
特 例	高効率設備の 算定量(※)							

※ 算定を希望する場合のみ記入する。別途、算定資料(任意様式)を添付すること。

(6) エネルギー起源CO<sub>2</sub>排出量の増減に影響を及ぼす要因の分析

・電力消費の約6割を占める送配水ポンプにおいて設備の都合で効率の良いセルビウス制御が使用できず、効率の悪い液体抵抗器制御を多用したため、二酸化炭素の排出量が増加した。  
 ・基準排出量68,691の目標削減率13%なので、年度ごとの排出削減量の目標は8,930t-CO<sub>2</sub>であり、31年度は目標を達成していないが、削減期間合計の目標は達成している。

## 4 温室効果ガスの排出の抑制等に関する措置の計画及び実施状況

No	対策の区分			対策概要	実施年度	推計削減量(t) (一年度当たり)
	区分番号	区分名称				
		大区分	中区分			
1	360700	ポンプ、ファン、ブロー、コンプレッサー等	36_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	製造次亜から購入次亜への転換	H26以前	1,435
2	360700	ポンプ、ファン、ブロー、コンプレッサー等	36_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	洗浄排水ポンプのVVVF化	H26以前	136
3	360700	ポンプ、ファン、ブロー、コンプレッサー等	36_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	次亜注入方式の変更による削減	H26以前	315
4	310400	一般管理事項	31_エネルギー使用量の管理	高度浄水ポンプ井の圧力渠水位高による運用	H26以前	248
5	490200	その他	49_その他の削減対策	フラッシュミキサ停止による運用	H26以前	124
6	310400	一般管理事項	31_エネルギー使用量の管理	場内給水ポンプ1台による運用	H26以前	175
7	330200	空気調和設備・換気設備	33_加熱及び冷却並びに伝熱の合理化に関する措置	空気調和設備の定期的な保守および点検の実施	H26以前	
8	380700	照明設備	38_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	誘導灯のLED化	H26以前	9
9	310100	一般管理事項	31_推進体制の整備	地球温暖化対策に関する推進組織の整備	H26以前	
10	330200	空気調和設備・換気設備	33_加熱及び冷却並びに伝熱の合理化に関する措置	空気調和設備の室外機にミスト噴射装置を取り付ける。	H26以前	
11	490200	その他	49_その他の削減対策	北部送水サンプリングポンプ運用停止による省エネ	H26以前	19
12	380700	照明設備	38_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	照明設備の効率化による省エネ	H27年度	1
13	380700	照明設備	38_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	屋外灯(薬品統合管理所)のLED化	H28年度	2
14	380700	照明設備	38_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	送水ポンプ所照明設備の高効率化による省エネ	H29年度	18
15	380700	照明設備	38_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	屋外灯(2群沈澱池)のLED化	H29年度	2

※ 入力欄が足りない場合は、シートの様式を変更せずに、同様式の別ファイルを作成して提出してください。 日本工業規格A列4番

5 事業者として実施した対策の内容及び対策実施状況に関する自己評価

(※希望者のみ記載)

自由記述欄

A large yellow rectangular area intended for free text entry, occupying most of the page below the header and above the footer.